

# 消防情勢



危険物は火災の発生危険、拡大危険が大きく、消火の困難性も高い物質で特殊な消火方法を必要とします。ガソリンスタンドでは一旦火災が発生すると爆発的に延焼が拡大します。危険物を取り扱う事業所の保安体制の強化や火災予防を目的とした特別消防訓練を実施しました。

危険物安全週間に伴う特別消防訓練

令和5年5月29日

於：EneJet 菰野町田口新田SS

(株)谷口リテール販売

## 菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

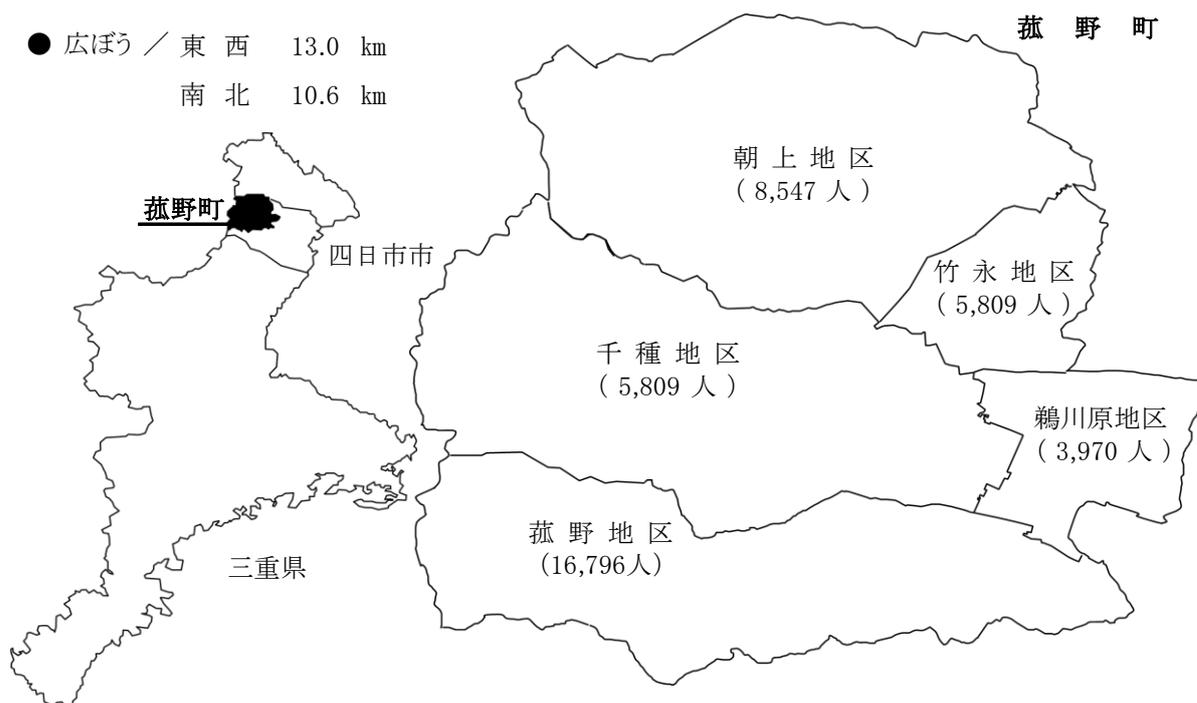
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 40,931人  
東経 136° 30' 25" (令和6.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km<sup>2</sup> ● 世帯数 / 17,281 世帯  
(令和6.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)  
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km  
南北 10.6 km



# 菰野町消防本部のあゆみ

## 昭和58年(1983)

- 9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

## 昭和59年(1984)

- 3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
- 7. 19 消防庁舎建設工事着工
- 8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
- 10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

## 昭和60年(1985)

- 1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
- 2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**  
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。  
定数31名 車両5台
- 4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

## 昭和61年(1986)

- 3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入
- 11. 19 普通貨物自動車購入

## 昭和62年(1987)

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

## 昭和63年(1988)

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

## 平成元年(1989)

- 1. 24 救急車（2B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

## 平成2年(1990)

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

## 平成4年(1992)

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

## 平成5年(1993)

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水ーⅠA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（Ⅱ型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菟野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（I型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年(2022)

- 1. 11 水槽付ポンプ車（II型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年(2023)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)

## 令和5年中の主な行事

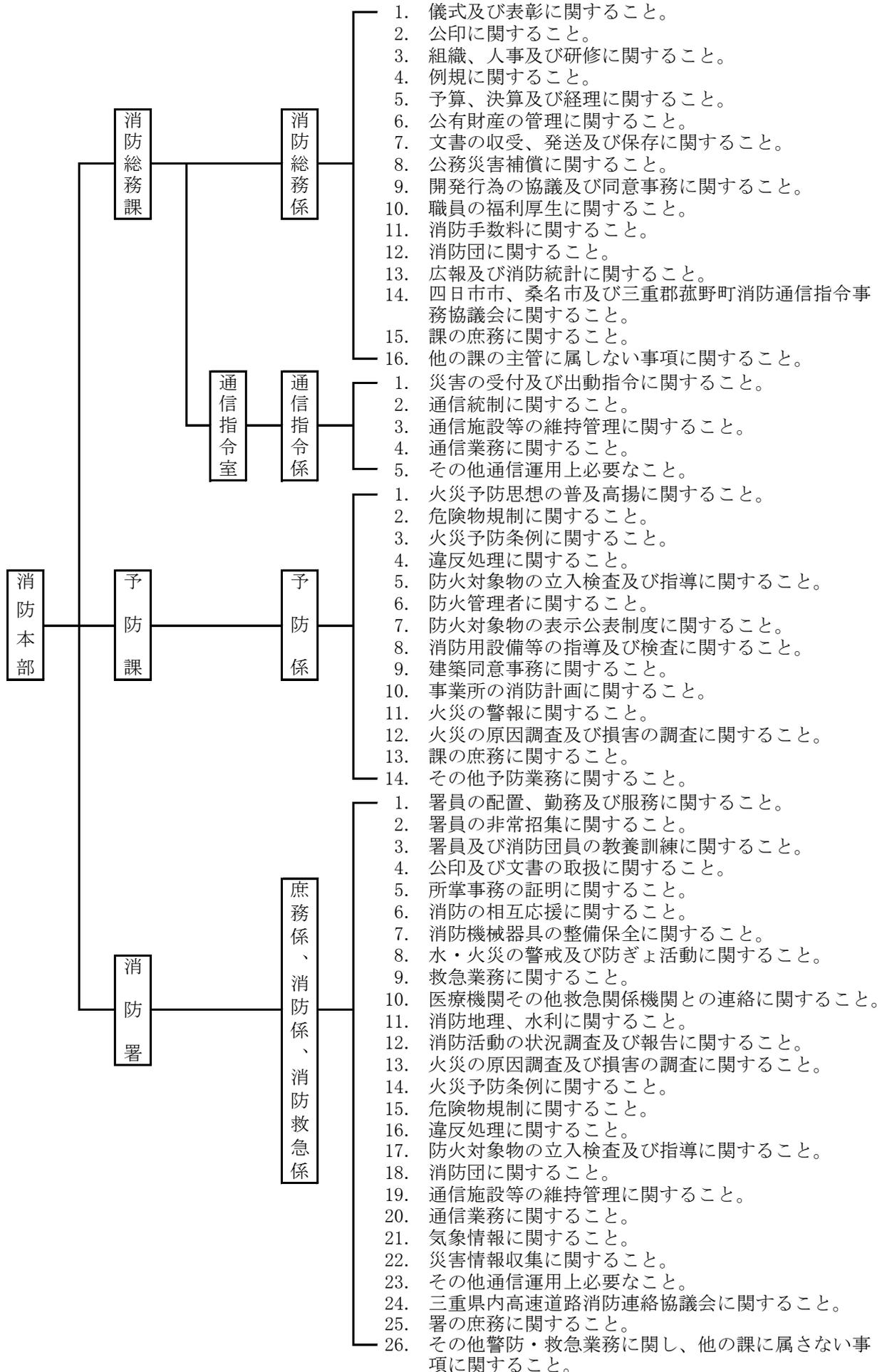
- 1. 8 消防出初式
- 1. 20 文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔見性寺〕
- 2. 27 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社 竹屋〕
- 2. 26 菰野町防火広報及び消防フェア〔イオンタウン菰野、町内一円〕
- 3. 1～ 3. 7 春の火災予防運動
- 4. 2 消防辞令交付式
- 5. 23 菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
- 5. 28 菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
- 5. 29 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔EneJet菰野町田口新田SS(株)谷口リテール販売〕
- 6. 4～ 6. 10 危険物安全週間
- 6. 25 菰野町消防団夏期訓練〔役場庁舎北駐車場〕
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
- 8. 27 菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔町内一円〕
- 8. 30～ 9. 5 防災週間
- 8. 31 防災週間に伴う特別消防訓練〔ホテル・ド・マロニエ湯の山温泉〕
- 9. 3～ 9. 9 救急医療週間
- 9. 23～ 9. 24 消防自動車写生大会〔消防本部〕
- 10. 20 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
- 10. 26 集団救急救護訓練〔消防本部〕
- 11. 9～11. 15 秋の火災予防運動
- 11. 12 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔大和ハウス工業(株)三重工場〕
- 12. 28～12. 30 年末特別警戒〔町内一円〕

## 歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日		現在に至る

# 消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 6. 4. 1現在



## 消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691
令和6年度	568,334	49,149	56,607	50	674,140

## 一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9
令和6年度	15,280,000	674,140	4.4

## 消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39
令和6年度	40,931	17,281	674,140	16	39

# 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制=15人	69	39	△ 30
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	( 兼 務 運 用 )			
		はしご付き消防自動車	( 乗 換 運 用 )			
		化学消防自動車【未配備】				
通 信 員		3	3	0		
予 防 要 員		5	5	0		
そ の 他 の 人 員		4	10	6		
合 計			81	57	△ 24	

令和 6. 4. 1現在

## 職員階級別、所属別配置状況

令和 6. 4. 1現在

所属	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消防長、消防本部		1	1					2
消防本部消防総務課			5	3	1		1	10
消防本部予防課			2		2		1	5
消防署			3	12	6	6	12	39
町部局					1			1
合 計		1	11	15	10	6	14	57

## 職員階級別勤続年数状況

令和 6. 4. 1現在

勤続年数	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満							1	1
1年							2	2
2年							3	3
3年							2	2
4年							3	3
5年								
6年						3	2	5
7年						1		1
8年			1				1	2
9年					1	1		2
10年					1			1
11年					2	1		3
12年								
13年					1			1
14年								
15年					1			1
16年				1				1
17年					1			1
18年					1			1
19年								
20年				2				2
21年				1				1
22年				1				1
23年			1	1	1			3
24年								
25年				2				2
26年				2				2
27年			1	2				3
28年								
29年								
30年			3	2				5
31年				1				1
32年			1					1
33年								
34年								
35年								
36年			2					2
37年								
38年								
39年		1	2		1			4
合 計		1	11	15	10	6	14	57

# 職員階級別年齢状況

令和 6. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳						3	3
22歳						2	2
23歳						1	1
24歳						1	1
25歳						1	1
26歳						3	3
27歳						1	1
28歳					3		3
29歳					2		2
30歳							
31歳					1		1
32歳				2			2
33歳				1			1
34歳				1			1
35歳				2			2
36歳							
37歳				2			2
38歳			2				2
39歳			1				1
40歳							
41歳				1			1
42歳			2				2
43歳			1				1
44歳							
45歳			1				1
46歳			1				1
47歳			1				1
48歳			3				3
49歳			2				2
50歳			1				1
51歳		2					2
52歳		2					2
53歳							
54歳		2					2
55歳		1					1
56歳							
57歳							
58歳		1					1
59歳	1	3					4
60歳							
61歳							
62歳							
63歳				1			1
合計	1	11	15	10	6	14	57

平均年齢 38.7 歳

# 消防本部(署)庁舎の概要

令和 6. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

# 現有消防車両

令和 6. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	12,000	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-II型 (災害対応)	三重830す2201	R 4. 1. 7	5,120	11,700	大型
小型動力ポンプ付水槽車		日野	I型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	高規格 (災害対応)	三重830す2402	R 6. 2. 26	2,480	3,305	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,385	普通
救急3号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,395	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型
事務連絡車		トヨタ	ワゴン	三重500ゆ8563	H15. 5. 22	1,990	1,920	普通
救急予備車		日産	高規格	三重830す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通

# 通信施設状況

令和 6. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、消防署	車載移動無線局 (デジタル)	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	携帯移動無線局 (デジタル)	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1～2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1～3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救急車積載携帯電話	5台	
	携帯電話	3台	本部1、署2
	ドローン通信用資機材	1台	
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	119番映像通報システム	1式	
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能
	指令メール	1式	火災指令メール
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳
ケーブルテレビ消防情報	1ch		

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

## 消防水利状況

令和 6. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	101	123	112	589
	管 径 100 mm		151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	188	177	321	271	1,445
防 火 水 槽	容 量 20 m <sup>3</sup> 未 満		3		2	7	2	14
	容 量 20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未 満		21	3	7	12	4	47
	容 量 40 m <sup>3</sup> 以 上		4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m <sup>3</sup>		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m <sup>3</sup>		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		40	7	13	27	18	105
自 然 水 利	河 川		51	17	13	74	63	218
	池		8	2	3	17	11	41
	合 計		59	19	16	91	74	259

## 各種研修実施状況

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
法 学 一 般		7	83	9
地 理 及 び 水 利		336	273	102
火 災 予 防		118	255	76
勤 務 要 綱		134	220	78
消 防 行 動		13	118	14
消 防 戦 術		83	160	36
消 防 機 械		351	1,403	293
実 施 訓 練		1,183	3,207	507
訓 練 礼 式		28	173	19
救 急 学		1,692	1,035	408
体 育		90	2,796	328

# 外部研修等派遣状況

令和5年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
救急救命士研修所		救急救命士新規養成研修（東京研修所第65期）	R5. 9. 12～R6. 3. 11	1
消 防 大 学 校		幹部科（第76期）	R6. 1. 21～R6. 3. 1	1
消 防 学 校		初任科（第60期）救急科 救急課程（第26期）	R5. 4. 10～R5. 12. 1	2
		特別科 指導救命士課程（第5期）	R5. 6. 5～R5. 6. 16	1
		救助科 救助課程（第33期）	R5. 9. 6～R5. 10. 6	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第10期）	R5. 12. 7～R5. 12. 15	1
		警防科 警防課程（第35期）	R6. 1. 29～R6. 2. 9	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習	R6. 2. 6～R6. 2. 8	1
		中級幹部科（第31期）	R6. 2. 14～R6. 2. 22	1
		特別科 指揮課程（第11期）	R6. 2. 26～R6. 3. 1	1
	火災調査科 火災調査課程（第20期）	R6. 2. 26～R6. 3. 8	1	
警 防		JTF FFSレベル2	R5. 6. 11～R5. 6. 12	1
救 急		PEMECコース(救急隊員による疾病の観察処置の標準化)	R5. 7. 1	1
		MCLSコース(多数傷病者対応研修)	R5. 7. 8・R6. 1. 21	2
		JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R5. 7. 30	3
		三重県臨床工学セミナー初級心電図	R5. 9. 24	2
		MIELS（メディカルラリー）	R5. 10. 7	1
		新生児蘇生法講習会Pコース・病院前コース	R5. 11. 19	1
		PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R5. 11. 20	2
		全国救急隊員シンポジウム	R6. 2. 1～R6. 2. 2	1
		ISLSプロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	R6. 2. 4	1
救 助		SRT1	R5. 4. 19～R5. 4. 21	1
		全国山岳遭難対策協議会	R5. 7. 7	1
		アリゾナボーテックスフレーム講習	R5. 7. 14～R5. 7. 15	1
		テクニカルロープレスキューテクニシャン	R5. 7. 18～R5. 7. 20	1
		山岳遭難救助研修会	R5. 10. 2～R5. 10. 6	1
		全国消防救助シンポジウム	R5. 12. 14	1
		アドバンスドロープレスキュー3	R5. 12. 15	1
予 防		調査技術会議	R5. 6. 22	1
		予防技術講習会	R5. 8. 4	1
		火災調査研究発表会	R5. 10. 10	2
		消防法令違反是正事例発表会	R5. 10. 19	1
		製品安全業務報告会（web）	R5. 11. 1～R5. 11. 30	1
		火災科学セミナー	R5. 11. 10	1
		消防及び警察機関事故原因究明技術研修会	R5. 12. 8	1
		企業防災対策指導研修会	R6. 2. 1～R6. 2. 28	1
	危険物事故事例セミナー	R6. 3. 6	1	
通 信 指 令		三重県通信指令員救急教育	R5. 7. 5～R5. 7. 6	1
		第6回通信指令シンポジウム	R6. 3. 16	1
そ の 他		大型自動車免許取得	R5. 5. 15～R5. 9. 19	2

## 応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

年度	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
平成29年度	17	671	45	577	3	17
平成30年度	8	172	40	541	3	22
令和元年度	16	249	37	480	2	11
令和2年度	3	37	12	66	6	26
令和3年度	1	20	21	74	2	3
令和4年度	12	270	24	178	2	2
令和5年度	24	464	28	237	1	3
合計	352	12,209	879	11,990	49	512

# 自主防災組織

令和 6. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 ( 昭和43年4月21日結成 374 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 ( 昭和40年3月20日結成 73 人)
		竹永地区婦人消防隊 ( 昭和58年6月 1日結成 72 人)
		朝上地区婦人消防隊 ( 昭和42年4月 1日結成 123 人)
		千種地区婦人消防隊 ( 昭和57年4月21日結成 123 人)
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		合計 5 隊 総員 765 人

(2) 自 警 団  
 合計 32 団 総員 672 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 ( 14 人 )
		菰 野 第 一 区 ( 37 人 )
		菰 野 第 三 区 ( 138 人 )
		宿 野 区 ( 18 人 )
		福 村 区 ( 10 人 )
		神 森 区 ( 14 人 )
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		計 6 団 総員 231 人

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 ( 14 人 )
		下 村 区 ( 15 人 )
		川 北 区 ( 15 人 )
		池 底 区 ( 12 人 )
		吉 沢 区 ( 10 人 )
		諏 訪 区 ( 9 人 )
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		計 6 団 総員 75 人

竹 永 地 区	}	竹 成 区 ( 17 人 )
		永 井 区 ( 37 人 )
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		計 2 団 総員 54 人

朝 上 地 区	}	榑 区 ( 13 人 )
		松 涛 園 区 ( 13 人 )
		小 島 区 ( 17 人 )
		田 口 新 田 区 ( 19 人 )
		美 山 区 ( 23 人 )
		田 口 区 ( 9 人 )
		日 丘 区 ( 21 人 )
		切 畑 区 ( 5 人 )
		一 本 木 団 地 ( 9 人 )
		青 葉 台 区 ( 8 人 )
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		計 10 団 総員 137 人

千 種 地 区	}	千 草 区 ( 20 人 )
		音 羽 区 ( 10 人 )
		潤 田 区 ( 34 人 )
		三 滝 園 区 ( 40 人 )
		岡 区 ( 9 人 )
		福 松 区 ( 17 人 )
		奥 郷 区 ( 10 人 )
		江 野 区 ( 35 人 )
<hr style="width: 100%; border: 0.5px solid black;"/>		計 8 団 総員 175 人

# 緊急避難所

令和6.4.1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148		128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷776-1	059-396-2319	66
榊	榊公会所	大字榊303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2495		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榊895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人員＝有効スペース3㎡×1人

## 風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人員＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者等を受け入れる場合に利用する。

## 収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人員＝体育館等3㎡×1人

## 収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園 菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鶉 川 原 地 区	鶉川原幼稚園 鶉川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上幼稚園 朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する、隣接の保育園、幼稚園、こども園等である。